

世界遺産登録推進NEWS

国立西洋美術館を世界遺産に！

For The World Heritage!



【発行】2016(平成28)年5月 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1193

ホームページ二次元コード
(スマートフォン対応) ⇒



お知らせ 世界遺産登録に向けての今後の活動予定

◆浅草橋紅白マロニエまつり にぎわいパレード

日程 5月15日(日) 10時～

場所 ヒューリック浅草橋ビル(台東区浅草橋1-22)周辺

ぜひ
見に来てね!



コルビおじさん

◆パネル展『国立西洋美術館～「ル・コルビュジエの建築作品」の世界遺産登録～』

日程 5月13日(金)～5月26日(木) 10:00～17:30

※ただし、5月13日(金)は10:00～20:00、
20日(金)は休館、22日(日)は10:00～12:00

場所 都立中央図書館4階 企画展示室(港区南麻布5-7-13)

主催 東京都教育委員会 **共催** 台東区



浅草文化観光センター
パネル展の様子(3～4月開催)

◆浅草文化観光センター パネル展

日程 6月2日(木)～6月29日(水) 9:00～20:00

場所 浅草文化観光センター7階(台東区雷門2-18-9)

活動報告

区民講座「建築家ル・コルビュジエと国立西洋美術館」

4月16日(土) 国立西洋美術館 講堂

当日は、建築史家・東京都江戸東京博物館研究員の米山 勇氏を講師に迎え講義をしていただいた後、国立西洋美術館ボランティアガイドの皆様のご協力により施設見学を行いました。

講義では、ル・コルビュジエが日本に与えた影響や、国立西洋美術館本館の特徴などを説明していただきました。

施設見学では、3つのグループに分かれ、建物(本館)の外観や19世紀ホール、展示室などをガイドさんの説明に沿って見て回りました。

受講された皆様からは、「説明が分かりやすく、楽しめた」、「ぜひ世界遺産になってほしい」などの感想をいただきました。



講義の様子

各種イベントでPRを行いました!



桜橋花まつりパレード(4月3日)



桜橋花まつりのステージ(4月3日)



東京スカイツリー
J:COM Wonder Studio (4月16日)

ル・コルビュジエってどんな人? —Part2 建築のアイデアなど②—

前回に引き続き、ル・コルビュジエの建築を知るためのキーワードをご紹介します。

■新しい建築のための5つの要点

ル・コルビュジエは近代建築を成り立たせるための5つの要点を提案しました。

1. ピロティ

建物を柱で持ち上げて地上部分にできる吹き抜けの空間です。人も風も自由に出入りできる場所です。



ピロティ <国立西洋美術館>
©国立西洋美術館

2. 屋上庭園

かつての瓦屋根ではなく、水平な屋上にすることで、植物を植えたり、日光浴を楽しんだりして、都会でも自然を感じることができます。



屋上庭園
<ラ・ロッシュ＝ジャンヌ邸>

3. 自由な平面

建物を支える壁と別に設けられた、空間を仕切る壁で作られる平面です。これによって自由な部屋をつくることができます。

4. 横長の窓 (水平連続窓)

柱や壁にじゃまされずに幅広く窓をあけて、光を部屋のすみずみにまでとり入れることができます。



横長の窓 <サヴォア邸>

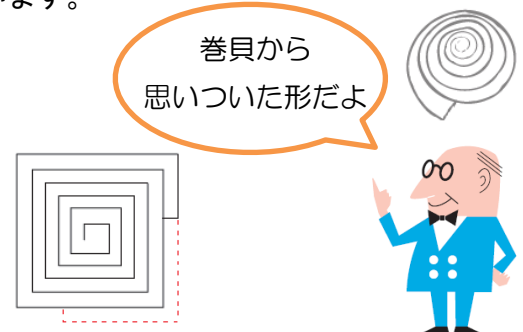
5. 自由な正面 (ファサード)

建物を壁のかわりに柱で支えることによって自由にデザインできるようになった壁面のことです。

■無限発展美術館 (無限成長美術館)

ピロティから建物の中心に入り外側に向かって螺旋状に順路をとり、作品の増加に伴い展示スペースを延長して無限に発展することができるなど、ル・コルビュジエの様々なアイデアがちりばめられた構想。

国立西洋美術館はこの考え方を基本コンセプトに設計されており、平面計画、動線計画、空間構成などにこの構想がよく示されています。国立西洋美術館の他にもインドのアーメダバード美術館やチャンディガール美術館で試みられています。



大成建設ギャラリー・タイセイ 展覧会のお知らせ

◆「ル・コルビュジエ主要建築作品-1」展を開催しています!

- * 開催期間：2016年3月31日(木曜日)～7月2日(土曜日)
木・金・土曜日 10時～17時(日～水曜日、4月28日～5月7日は休館)
- * 開催場所：大成建設ギャラリー・タイセイ(神奈川県横浜市中区長者町6-96-2)
- * 20世紀を代表する建築家ル・コルビュジエが手掛けた建築作品のなかから、「近代建築運動への顕著な貢献」として、ユネスコの「世界文化遺産」への登録候補作品となっている建築作品をピックアップし、彼の主要作品を概観します。現在、「世界文化遺産」の候補となっているのは7か国に所在する17資産。これらを「住宅」と「それ以外の用途の建築」の、2回に分けて展覧するもので、第1部では10点の住宅作品をパネル、模型など全50点程度で紹介しています。

・とりあげる建築作品(例)：

《ラ・ロッシュ＝ジャンヌ邸》 《サヴォワ邸》

《イムーブル・クラルテ》 など

この機会にぜひご覧ください。

詳しくはこちら(大成建設ギャラリー・タイセイホームページ)

⇒ <http://www.taisei.co.jp/galerie/index.html>



イムーブル・クラルテ(スイス) Photo: Evelyne Perroud